

県中学生郷土新聞コンクール

取材力、内容たたえる

本社 上位入賞30人を表彰



第24回県中学生郷土新聞コンクール(県中学校教育研究会社会科部会、福井新聞社主催)の表彰式が10日、福井新聞社・風の森ホールであり、最優秀の知事賞に選ばれた木田恋菜さん(勝山南部中2年)ら上位入賞30人の取材力をた

たえた。

県義務教育課の浦井寿尚課長らが、一人一人に賞状を手渡した。上位5人が作品の説明に臨み、木田さんは「給食をきっかけに取材を進め、エゴマを知ってもらった皆さんの工夫を知ることができた。勝山人として、新聞を通じて

特産品を多くの人に知ってもらいたい」と話した。

審査員を代表し、福井新聞社の伊与登志雄報道センター長が「食をテーマにした作品が多かった。身近で取材しやすかったのもあるだろうが、

知事賞の表彰を受ける
木田さん＝10日、福井新聞社・風の森ホール



切り口は新鮮で興味深い内容ばかりだった」と講評した。

入賞作品は11日まで福井新聞社・風の森ギャラリー、15～23日は美浜町生涯学習センターなどで展示する。コンクールは郷土の歴史や

地理、特産品などについて調べてまとめ、古里に愛着を深めてもらおうと、NIE(教育に新聞を)の一環で毎年行っている。県内60校から5409点の応募があった。

(坂下亨)